

2. 指標設定

成果指標	指標名	介護保険特別会計の経営安定	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—			法律(介護保険法・消防法施行令)及び県補助金交付要綱に基づいて実施するものであるため			
活動指標	指標	a	設置箇所数 (スプリンクラー)	b	対象者数	c	繰出額	d
	数値	目標	全体で12事業所	目標	—	目標	—	目標

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H21	H22	H23
介護保険特別会計の経営安定		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 設置箇所数 (スプリンクラー)	ヶ所	5 ヶ所	3 ヶ所	4 ヶ所
	%	41.7 %	25.0 %	33.3 %
b 対象者数	人	87 人	88 人	68 人
		—	—	—
c 繰出額	億円	8.0 億円	8.3 億円	13.1 億円
		—	—	—
d				

4. 課題と対応

課題
給付費の伸びが毎年大きく、介護保険特別会計の安定した運営に支障を来している
対応(改善点等)
介護予防事業を推進し、健康推進室や県豊肥保健所等と連携して、住民への啓発と健康づくり事業に取り組み、給付費の伸びに歯止めをかけていく

5. 事業費・・・H21～H23(決算額)、H24(予算現額)

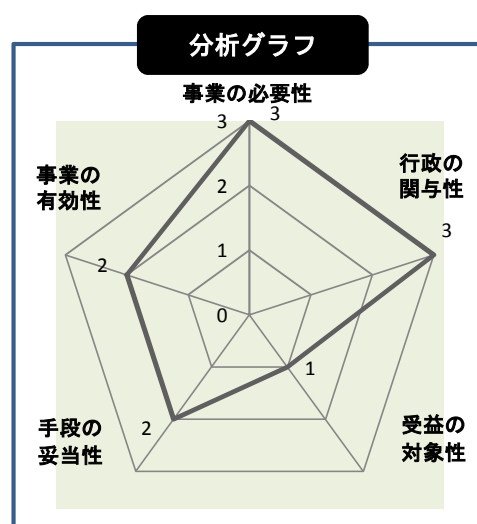
決算額(千円)		H21	H22	H23	H24
		828,535	847,139	1,325,124	948,227
うち経常経費		804,521	836,961	859,069	948,227
財源内訳	国費	24,014	10,178		
	県費	3,383	2,540	19,162	3,000
	市債				
	その他				
	一般財源	801,138	834,421	1,305,962	945,227
うち経常		801,138	834,421	855,947	945,227
事業費に係る人件費		512	526	559	515

6. H25年度予算の方向性

方向性
増額
理由
毎年、介護給付費が伸びていることにより、一般会計の法定繰出金額が増えるため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠	
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	介護保険法に定められた一般会計から介護保険特別会計への繰出と、国・県の補助金交付要綱に即して実施
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	一般会計から特別会計への繰出は介護保険法の規定による(124条)
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1	対象が、事業所・申請者・介護保険特別会計と限定された事業である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2	介護保険法に定められた以上の一般会計から介護保険特別会計への繰出を行った
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2	法に定められた以上の繰出を行っているものの、期待している程の成果は上がっていない状況にある



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	介護保険健全運営のための適切な措置を講じること